



2025 年 2 月 17 日

イオン九州株式会社

イオングローバル SCM 株式会社

ロジスティード株式会社

NEXT Logistics Japan 株式会社

イオン九州・ロジスティード九州・NEXT Logistics Japan

25m ダブル連結トラックを活用した取り組みを開始

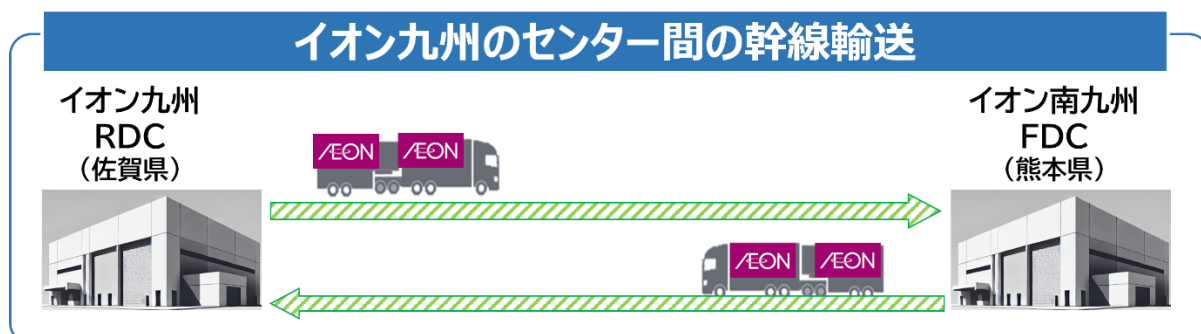
～九州地区でも、高効率物流の実現を目指し、2024 年問題や環境問題に対応～

イオン九州株式会社(本社:福岡県福岡市、社長:中川伊正、以下 イオン九州)、イオングローバル SCM 株式会社(本社:千葉県千葉市、社長:手塚大輔、以下 イオングローバル SCM)、ロジスティード九州株式会社(本社:福岡県糟屋郡、代表取締役社長:寺井義彦、以下 ロジスティード九州)、NEXT Logistics Japan 株式会社(本社:東京都新宿区、社長:梅村幸生、以下 NLJ)は、持続可能で生産性の高い物流の実現に向け、イオン九州 RDC にて 2025 年 2 月 17 日より 25m ダブル連結トラックでの輸送を開始します。イオングループのサプライチェーンを担うイオングローバル SCM がイオン九州からの商品輸送をロジスティード九州の 25m ダブル連結トラックで行う新たなスキームを、NLJ の支援のもと構築しました。イオングループとして初めて 25m ダブル連結トラックを採用する取り組みとなります。

現在、イオン九州 RDC(佐賀県)とイオン南九州 FDC(熊本県)の間では、大型トラックを使用していますが、今回一部をダブル連結トラックに切り替えることで、大型トラック 2 台分を 1 台で輸送できるため、ドライバーの省人効果として 50%※、CO2 排出量は約 40%※の削減が見込まれます。 ※NLJ 調べ

今後、ダブル連結トラックの運行便数の拡大や他拠点への展開、他企業の荷物との混載など、高効率な物流スキームの構築を進めていきます。

■運行スキーム(イメージ)



■各社紹介

・イオン九州株式会社 (<https://www.aeon-kyushu.info/>)

イオングループの中核を担う総合スーパー(GMS)事業とスーパーマーケット(SM)事業中心に行っており、九州7県・山口県に展開しています。九州全県によるシナジーをチカラにスケールメリットを生かすとともに改革を推進し、より地域に密着した店舗づくりや事業展開を目指しています。

・イオングローバル SCM 株式会社 (<https://aeonglobalscm.co.jp/>)

イオングループのサプライチェーンを担うイオングローバル SCM。私たちはサプライチェーン視点で「物流」「流通」にとどまらない「つなぐ」ビジネスを展開し、物流課題の解決とカーボンニュートラルへの貢献を目指します。

・ロジスティードグループについて (<https://www.logisteed.com/jp/>)

3PL・重量機工・フォワーディングをコアにグローバルに展開する総合物流企業です。経営理念である「ロジスティードグループは 広く未来をみつめ 人と自然を大切にし 良質なサービスを通じて 豊かな社会づくりに貢献します」のもと、さまざまな『協創』を通じた課題の解決と『価値』の創出に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

・NEXT Logistics Japan 株式会社 (<https://www.next-logistics-jp.jp/>)

NEXT Logistics Japan(ネクストロジスティクスジャパン)は物流の社会課題の解決に向け、幅広い荷主企業や物流事業者とともに、持続可能な物流の実現を目指し、ダブル連結トラックの運用・スキーム導入支援や物流最適化ソリューションシステム『NeLOSS』(ネロス)など高効率輸送スキームの構築を推進しています。

以上